

2022

7

July
No. 353

広報みしま

福島県
大沼郡
三島町

三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

Mishima Town Public Relations



第52回志津倉山開き

6月5日「志津倉山開き」が3年振りに開催されました。当日は雨が心配されましたが、天候にも恵まれ、そよ風と木漏れ日が気持ちの良い一日となりました。山開きには約80名の方が参加し、それぞれのペースで登山を楽しみました。

主な内容

まちの話題	2～3
移住体験ツアー 2022 春	4～5
町民記者通信	6～7
こらんしょ運動教室のご案内	7
など	

ご寄附ありがとうございました

佐久間建設工業（株）が町と日本赤十字社に寄附

佐久間建設工業(株)から町と日本赤十字社へ多額の寄附金が贈呈されました。5月30日に佐久間源一郎会長と佐藤岩男社長が役場を訪れ、矢澤源成町長に手渡しました。

▶ 佐藤社長（左）、佐久間会長（中央）、矢澤町長（右）



第一只見川橋梁ビューポイントなどを現地視察

内堀雅雄福島県知事が来町

6月8日に内堀知事が来町し道の駅周辺の現地視察を行いました。矢澤町長が、第一只見川橋梁ビューポイントと道の駅周辺の駐車場拡張整備予定地、ガソリンスタンド整備予定地について説明しました。内堀知事は、矢澤町長の説明を受け、今後の展開に期待を込めているようでした。

▶ 第一只見川橋梁ビューポイントを視察する内堀知事（左）と矢澤町長（右）



日頃の練習の成果を発揮！

三島中学校【全会津中学校体育大会】

三島中学校男子バレーボール部と三島中学校男子・女子卓球部がそれぞれの競技で「全会津中学校体育大会」に出場しました。

男子バレーボール部は決勝戦まで快進撃で見事準優勝、女子卓球部は団体戦で第3位とオープンダブルスで出場した片山千愛さん（桧原）と吹上媛香さん（中平）が第3位と好成績を収め、男子バレーボール部と女子卓球部オープンダブルスの2名は、7月22日から開催される県大会へ出場します。

▶ 三島中学校男子バレーボール部の皆さん ▶ 三島中学校女子卓球部の皆さん



交通教育専門員 交通事故防止に尽力

栗城功さんが永年勤続会員表彰を受賞

栗城功さん（宮下）が、三島町交通教育専門員として3期（9年）勤めた功績をたたえられ、福島県交通教育専門員連絡協議会より永年勤続会員表彰を受賞し、6月14日に矢澤町長へ報告しました。

栗城さんは、平成25年4月1日に交通教育専門員を任命されて以来、現在4期（10年）目を迎え、児童生徒の登下校時の見守りや、街頭での交通安全指導などに日々ご尽力されています。

▶ 栗城功さん（左）



協定締結式後、飯豊連峰をバックに記念撮影し、道の駅あいづ湯川・会津坂下から勝常寺までのサイクリングと見学で交流を深めた株式会社モンベルの辰野勇会長（右から7人目）と会津13市町村の首長

株式会社モンベルと包括連携協定を締結 アウトドアを生かした連携を目指す

当町は6月2日、アウトドア用品の大手企業、株式会社モンベルと包括連携協定を締結しました。会津地域13市町村が同様にそれぞれ協定を締結し、同時に「人生100年時代 会津・モンベル広域連携共同宣言」も行われました。締結式は道の駅あいづ湯川・会津坂下で行われ、モンベルの創業者である辰野勇会長、高野武彦県会津地方振興局長、各市町村長が出席し、協定書と共同宣言に署名しました。

包括連携協定は、モンベルが掲げる「アウトドアの持つ7つのミッション」を軸に各自自治体と連携し、自然体験による健康増進、子どもの育成、エコツーリズムの促進などにより、地域活性化と生活の質の向上に寄与することを目的としています。全国100カ所以上と締結しており、今年4月6日には福島県とも締結しました。また106万人に達しているモンベルの有料会員へのPRを生かした事業展開の可能性もあります。モンベルでは、愛用者も多い自社の商品（テント・寝袋・防寒着

7つのミッション

- 自然環境保全意識の醸成
- 子どもたちに生きる力の育成
- 健康寿命の増進
- 自然災害への対応力の向上
- 地域の魅力発信とエコツーリズムの促進
- 農林水産業の活性化
- 高齢者・障がい者のバリアフリー実現

等）は、災害対応にも活用できるとしています。辰野会長は4月6日に行われた意見交換会で講話し、「自然がきれいなのはどこにでもある。人の熱意が人を動かし、人に会いたい気持ちがりピーターを生む。交流人口と皆さん言いますが、地元の方が喜ぶことが一番と考えています」と話しました。当町においては、志津倉山や美坂高原などの自然環境を生かし、広域連携も含めモンベルとの有効な連携方法を検討していきます。

空き家セミナー2022 「片づけの一步を踏み出そう！」

空き家の利活用や解体を進める際に、立ちはだかる課題。それは「片づけ」ではないでしょうか。実際、空き家相談を受ける中で、よく耳にするのが「片づけができていない」というお話です。また、人生100年時代と言われる昨今、空き家所有者でなくとも、誰もが必ず直面するのが「片づけ」ではないでしょうか。

今回は、「実家の片づけ講師」としてご活躍している渡部亜矢氏をお招きし、空き家や実家の片づけ、生前整理についてご講演いただきます。皆さま、ぜひお誘いあわせの上ご参加いただき、一緒に片づけの一步を踏み出しましょう！

日時：令和4年8月12日（金）

10:00～

会場：三島町町民センター大ホール

第一部 10:00～11:30

- ・ 入場無料、予約不要
- ・ 講師：一般社団法人実家片づけ整理協会
代表理事 渡部亜矢氏

1965年神奈川県生まれ。東京在住。都市銀行で住宅融資業務、出版社の編集者等を経て、片づけが苦手な人向けの講座を開講。
図書コーナーゆめポケットにご著書があります！
『カツオが磯野家を片づける日
～後悔しない「親の家」片づけ入門～』
SBクリエイティブ



町民、町内に空き家を所有している方は、どなたでもご参加いただけます！

第二部 11:30～ 個別相談

- ① 司法書士矢木寅雄氏による個別相談
 - ・ **事前予約制の先着順**
 - ・ 1組20分、**3組限定**
 - ・ 相続及び登記関係等についての相談
- ② 職員による個別相談
 - ・ 予約は必要ありません。その場で順次お伺いします。
 - ・ 空き家・空き地バンク、空き家に係る補助制度等についての相談

◆予約・お問い合わせ先◆
地域政策課 地域政策係 ☎（48）5533



移住体験ツアー2022春

今年度、移住促進事業の一つとして、四季を通して三島町に来ていただき、地元の方々や先輩移住者との交流等を通して、三島町の暮らしや文化、魅力を感じてもらうツアーを企画しました。

第1回目を5月27日（金）～29日（日）の2泊3日で実施し、今回は、ものづくりや家庭菜園等に興味が有り、会津や奥会津エリアを移住先として考えている3名の方にご参加いただきました。



初日

【手彫りの菓子皿づくり】

生活工芸館にて、ものづくり文化が根付く三島町ならではのものづくり体験をしました。



2日目

早戸地区を訪問し、神々の道を案内していただきながら、地区の歴史や文化に触れたり、地区の方々との交流を楽しみました。また、午後は「三島町空き家・空き地バンク」に登録されている空き家物件2件をご紹介します。



3日目 桐の里ウォークに参加しました。

参加者の方の感想

- ・ 初めての宿泊滞在でしたが、町を案内していただいたり、ものづくり体験を通して、小さな町の中に多くの魅力を感じた。
- ・ 森、川、水、空気、人、気持ちがよく、豊かさを感じました。
- ・ スタッフ、関係者の皆様が親切、丁寧で大変良い時間を過ごせました。



地区の入口と視点場を整備（6月10日）

小島 純（宮下）

宮下地区では、町への入口となる大登ロータリーの草刈りとアーチ三橋台（兄弟）の視点場の整備作業を行いました。委員はそれぞれ草刈り機と熊手を使い、作業に汗を流しました。

アーチ三兄弟の視点場は、年々撮影に訪れる人が増えており、きれいに整備された視点場で気持ち良く撮影できることと思います。



こらんしょ運動教室で ズンバ開催！



ズンバとは、ラテン系の音楽に合わせて踊るダンス系のエクササイズで、体幹を鍛える有酸素運動です。

健康運動指導士の佐藤正子先生（会津若松市在住）にご指導いただき、ズンバで汗を流した後は、器具を用いての筋膜リリース（筋膜を解きほぐし筋肉を動きやすくする）も行います。体脂肪が気になる方、筋力の衰えを実感されている方、一緒に楽しく筋肉トレーニングに取り組みましょう。

申込は不要ですので、興味のある方はぜひご参加ください。

開催日	時 間	場 所
7月 8日(金)	10：30～	町民センター
8月 5日(金)		
9月 9日(金)		
10月 21日(金)		
11月 18日(金)		
12月 9日(金)		
1月 13日(金)		
2月 10日(金)		
3月 10日(金)		

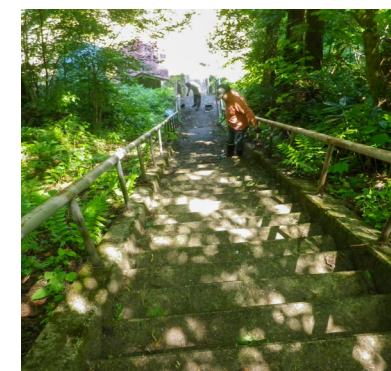
☎三島町地域包括支援センター ☎（48）5045

緑の中を気持ちよく散策できるように～遊歩道の整備～（5月30日）

小島 純（宮下）

宮下地区美観担当の佐久間宗一氏が「まちづくり応援隊」の協力を得て、国道252号線沿いにある種蒔桜遊歩道の整備作業を行いました。

併せて、国道から三島神社に降りて行く100段の階段の落ち葉や苔等も取り除き、見違えるように綺麗になって、気持ち良く昇り降りできるようになりました。



一年間の泥をスッキリと（6月5日）

小島 純（宮下）

晴天に恵まれた日に、宮下地区委員と町消防団宮下班の協力を得て、倉掛水路の土砂上げ作業を行いました。

毎年行われる作業で、水路に溜まった1年分の土砂を地区委員と班員が交代しながら排出作業し、汗を流しました。

班員の若いパワーで予定より早い時間で作業を終えることができました。



花いっぱい活動「コスモスの種・花植え」（6月5日）

佐久間 絹江（滝原）

今年もボランティアこぶしの会の活動の一環として、国道沿いにコスモスの種・苗を植えました。地区入口の待避所には種を、集会所より早戸方面へは、10～20cm程に成長した苗を植えました。峠に位置する滝原は、曲がりくねった山道をスピードを押さえて走ってきた車が、ホッと一安心、アクセルに力を込めたい心情になるようです。道中も広くない小さな地区ですが、道路沿いの花々に心を癒されて安全運転で通行してほしいものです。

話は変わりますが、5月連休後から活動を再開した滝原グランドゴルフクラブ。今年度も各地区からの参加者を交えて、週2回の活動と月末の大会を目標に皆さん笑顔で汗を流しています。



熱中症予防のポイント



vol.69

健康で元気な毎日！

町民課保健福祉係 ☎ 48-5565

熱中症は気温が高いなどの環境下で、体温調節の機能がうまく働かず、体内に熱がこもってしまうことで起こります。小さな子どもや高齢者、病気の方などは特に熱中症になりやすいため注意が必要です。

マスクについて

マスク着用時は激しい運動や作業を避け、屋外で人と十分な距離（2m以上）を確保できるときは、マスクを外して過ごしましょう。

地面の
照り返しに注意



暑さを避けよう

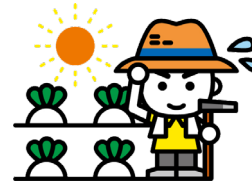


暑さ対策をしっかりと！

- ・涼しい服装、日傘や帽子を活用しましょう。
- ・エアコンを活用しましょう。（環境省では、室内温度は28℃を推奨しています。）
- ・風通しを良くするため、扇風機や換気扇を併用し、こまめに換気を行いましょう。

こまめな水分補給が大切です！

一気飲みは体に負担がかかります。1時間ごとにコップ1杯程度、こまめな水分補給を心掛けましょう。



農作業は
涼しい時間帯に！

体調管理について

体温測定、健康チェックをし、体調が悪い時は無理をせず涼しい環境で過ごしましょう。

図書のご案内

町民センターゆめぼけっと

- 利用時間
月～金 午前9時～午後9時
土・日・祝 午前9時～午後5時

- お休み
年末年始

☎ 公民館 ☎ (48) 5599

●今月のおすすめ



かむさり
神去なあな日常

著：三浦しをん

高校卒業と同時に平野勇気が放り込まれたのは三重県の山奥にある神去村。美人の産地・神去村でチェーンソー片手に山仕事。先輩の鉄拳、ダニやヒルの襲来。林業に従事し、自然を相手に生きてきた人々に出会う。

●図書の紹介



朝1分間、
30の習慣。

著：マツダミヒロ



最後は会って
さよならをしよう

著：神田 漣



ひとり旅日和
縁結び！

著：秋川滝美

地域おこし協力隊 活動誌

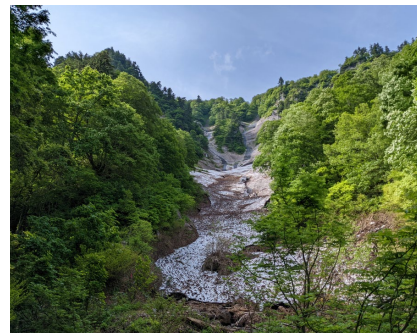
志津倉山開き

山本

敬晴

本格的な夏の到来とともに雨の日も多くなりました。雨は、登山や岩登りが趣味の私にとって天敵のようなものですが、他方で貴重な水資源を生み、農作物や森林などを育む自然界にとって必要不可欠なものでもあります。ただ、最近は気候変動の影響もあって、局地的な集中豪雨による大規模な水害が増えていますので、そのような雨にはならないように祈るばかりです。

さて、今回は、先月5日に開催された志津倉山開きについて触れたいと思います。というのも、実は今年から「志津倉山の会」に入会しまして、チラシ作りや登山整備などの準備や当日の登山者支援にて活動させていただきました。

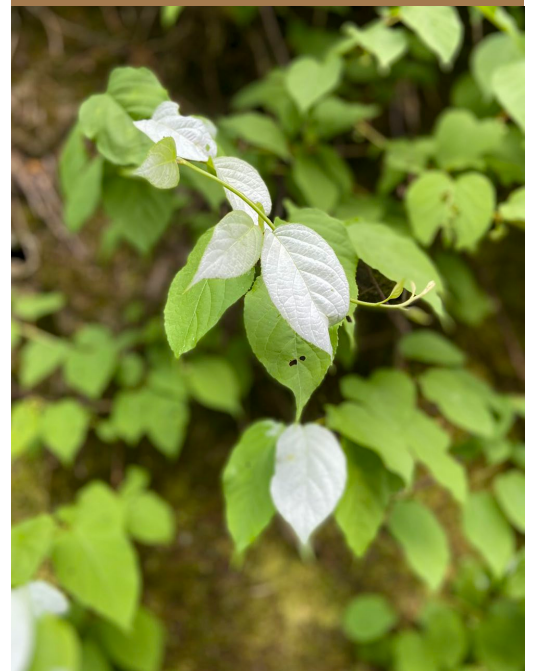


▲ 志津倉山：雨乞岩

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により今年は3年振りの開催ということで、昨年移住してきた私にとっては初めての志津倉山開き。その2日前の登山道整備では豪雨に打たれたため、とにかく天気が気掛かりでしたが、当日は絶好の登山日和となり、参加者の皆さんも満足された様子でした。私自身は、運営側で山に関わったことが初めてでしたが、皆さんから「とても良かったよ！」「登山道の整備をありがとう！」などうれしいお声をいただいて、こういった形で山に関わることも良いものだあと感じた一日となりました。

工芸館だより⑭ くものづくりの伝承

白い葉っぱ



町内の各所で白い葉っぱを見かけるようになりました。それはきつとマタタビの葉っぱです。初夏から葉の一部を白く変化させ、マタタビが生えている場所を教えてください。どうやら本当は花粉を運ぶ虫に気づいてもらいたいということのようです。

工人さんはこの白を目印にマタタビの在りかを記憶し、冬の雪の降る前に材料とりを行います。道沿いのような拓けた場所で見かけますので、ぜひ、散歩や山に行かれる際に探してみたいかがでしょうか。

ちなみに猫がマタタビを好きな理由は、マタタビの葉に蚊よけの成分が入っているからだと言われているようです。（出典）福島民友

町民アカデミー講座のご案内

7月23日④「手びねりでつくる陶器」

8月14日⑥ 夏休みスペシャル

「5連ゴム鉄砲つくりとみしま競技大会」

受講者募集中！詳しくは問い合わせ先まで。

☎ 三島町生活工芸館 ☎ (48) 5502



会津若松地方広域市町村圏整備組合

事務局職員（行政職）募集 令和5年4月採用予定の職員を募集します。

1 採用職種及び採用予定人数

職 種	採用予定人員	職 務 内 容
行政職	2名程度	総務課・環境センター・用水供給課でそれぞれの業務に従事

2 受験資格（行政職）

高校卒業程度の学力を有する方で、平成7年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた者。

3 試験申込書の請求

会津若松地方広域市町村圏整備組合事務局・消防本部・消防署・分署・出張所・市町村役場で交付します。整備組合のホームページ（アドレス <http://www.aizu-kouiki.jp>）から受験案内・試験申込書をダウンロードすることができます。

4 郵送を希望する場合

封筒の表に「採用試験用紙請求」と朱書きし120円分の切手を貼った宛名明記の返信用封筒（A4判大）を同封し、会津若松地方広域市町村圏整備組合事務局総務課総務係（〒965-0037 会津若松市中央三丁目10-12）へ郵送で請求してください。

会津若松地方広域市町村圏整備組合（消防本部）

消防職員募集 令和5年採用予定の職員を募集します。

1 採用職種及び採用予定人数

職 種	採用予定人員	職 務 内 容
消防職員	3名程度	消防署等において、警防、予防、救急等の業務に従事します。男女とも原則として深夜業を含む交替制勤務です。（6ヶ月間の消防学校研修後、各所属に配属されます。）

2 受験資格（行政職）

高校卒業程度の学力を有する方で、平成7年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた者。身体の基本は、身体強健な者とする。

3 試験申込書の請求

消防本部、消防署、分署、出張所、市町村役場で交付します。消防本部のホームページ（<http://www.119-aizu.jp>）から受験案内及び試験申込書をダウンロードすることができます。

4 郵送を希望する場合

封筒の表に「採用試験用紙請求」と朱書きし、120円分の切手を貼った宛先明記の返信用封筒（A4判大）を必ず同封して、会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部総務課（〒965-0131 会津若松市北会津町中荒井字諏訪前11）へ送付してください。

5 受付期間

令和4年7月13日⑥～令和4年8月12日⑨まで（執務時間中に限ります。執務時間8時30分から17時15分まで）ただし、土曜日、日曜日及び祝日は除きます。郵便による申込書提出の場合は、令和4年8月10日⑥の消印があるものまで受け付けます。

6 第1次試験

と き 令和4年9月18日⑩
ところ 会津大学 / 内 容 教養試験
※新型コロナウイルス感染症の影響により、採用試験の日程、会場等を変更する場合があります。その場合は、整備組合のホームページで周知するとともに、申込時の連絡先等に連絡いたします。

⑩会津若松地方広域市町村圏整備組合
事務局総務課総務係 ☎ 0242-24-6311



5 受付期間

令和4年7月13日⑥～令和4年8月12日⑨まで（執務時間中に限ります。執務時間8時30分から17時15分まで）ただし、土曜日、日曜日及び祝日は除きます。郵便による申込書提出の場合は、令和4年8月10日⑥の消印のあるものまで受け付けます。

6 第1次試験

と き 令和4年9月18日（日）
ところ 教養試験 会津大学 / 体力試験 会津大学体育館
※新型コロナウイルス感染症の影響により、採用試験の日程、会場等が変更される場合があります。その場合は、消防本部ホームページで周知するとともに、申込時の連絡先等に連絡いたします。

⑩会津若松地方広域市町村圏整備組合
消防本部総務課総務グループ
☎ 0242-59-1400



環境研だより 第48回

一人ひとりができるゼロカーボンアクション

三島町のみなさま、こんにちは。前回の環境研だよりでご紹介したとおり、5月26日に三島町2050ゼロカーボン宣言が行われました。これは三島町ゼロカーボンビジョンをもとに、森林を活かしながら環境と調和した町づくりを目指す三島町の取組みを広くPRするものです。この三島町ゼロカーボンビジョンを見てみると、ゼロカーボンへの取組みとして「省エネ&電化促進」「再エネの地産地消」「CO2吸収源となる森林管理」の3つの大きな柱を立てています。今回は、その中から比較的小さい家庭でも取り組みやすい「省エネや電化の促進」について、環境省が公開している「ゼロカーボンアクション30」をもとに見ていきたいと思っています。

「ゼロカーボンアクション30」は環境省HP（※1）で昨年8月に公開されたもので、2020年10月の2050年カーボンニュートラル宣言を受けて設置された「国・地方脱炭素実現会議」において、2021年6月に取りまとめられた「地域脱炭素ロードマップ」の中で、衣食住・移動・買い物など日常生活における脱炭素行動と暮らしにおけるメリットを整理したものに なります。 ※1: <http://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/zc-action30/>



「ゼロカーボンアクション30の一覧」環境省HPより

ゼロカーボンアクション30はその名の通り30項目の脱炭素行動が紹介されています。エネルギーの節約・転換や食品ロスについてなど、いくつかのカテゴリー分けをされていて、それぞれ個人でも可能な脱炭素行動とその行動による暮らしのメリットが

紹介されています。

例えば、エネルギーの節約・転換の中にある「節電」では、節電による光熱費の節約だけでなく、火災等の事故予防や外出先から家電の遠隔操作ができるなどの利点も紹介されていて、脱炭素だけでなく日々の暮らしにも良いことがあることがわかります。

なお、環境省HPには各アクションのCO2削減量と全国の20代から60代の800人に聞いた、「やってみたいアクション」のランキングが掲載されていたので一部を紹介します。

まず、やってみたいゼロカーボンアクション（複数回答有）では3位が「節電（54.8%）」、2位が「節水（55.3%）」、1位が「食事を食べ残さない（55.4%）」となりました。

また、「大きな買い物だけどCO2削減効果が高いアクション！」では、「太陽光パネルの設置（1,275kg/人）」や「エネルギー収支がゼロ以下になる家（ZEH）（3,543kg/世帯）」、「電気自動車（242kg/人）」などが挙げられており、各所で補助が受けられるものもありますので、車の買い換えやリフォームの際に選択肢として検討されるのもよいかもしれません。

三島町のゼロカーボン社会を実現するには、町民のみなさまにゼロカーボンビジョンの考え方をより身近に感じていただくことが必要不可欠です。今後も個人でできる脱炭素に向けた取組みを介していきたいと考えておりますので、ぜひ参考にさせていただき、脱炭素行動に関心を持っていただければと思います。

〈筆者〉常盤 達彦（ときわ たつひこ）

この夏、福島拠点では環境をテーマに参加者同士で対話をし、学び、考える「環境カフェふくしま」を開催する予定です。高校生以上の方でしたら誰でも参加できますのでご興味のある方はぜひ！

⑩国立環境研究所福島地域協働研究拠点
地域環境創生研究室 ☎ 0247（61）6572



県立宮下病院より

愛ばんしょ外来からのお知らせ

三島町ケーブルテレビ 三島通信で健康教室を放送中です。7月のテーマは「家庭でできる食中毒予防」です。ぜひご覧ください。



☎ 福島県立宮下病院 ☎ (52) 2321

町からのお知らせ

ご寄附ありがとうございました(5月分)

ふるさと納税

合計 18件 143,000円

7月分納税のご案内
【納期限 8月1日(月)】

- ▼ 固定資産税(第2期)
 - ▼ 国民健康保険税(第2期)
 - ▼ 介護保険料(普通徴収)(第2期)
- 忘れずに納付ください。
- ☎ 町民課 町民係 ☎ (48) 5555

お悔み申し上げます

小 柴 留 喜 様 (92才・高清水)
小 松 オツマ 様 (98才・西 方)
海老名 義 夫 様 (78才・松 原)

町の人口と世帯(6月1日現在)

人口	1,448	増減数	-9	出生	0
男	726		-5	死亡	6
女	722		-4	転入	1
世帯	710		-6	転出	4

※住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

社会福祉協議会より

大石田友遊サロン

7月4日(月)
社会見学
(裏磐梯方面)

高清水・小山いきいきサロン

7月5日(火)
午前10時から
高清水集会所

サロンなごみ

7月6日(水)
午前10時から
西方ふるさとセンター

松原はつらつクラブ

7月8日(金)
社会見学
(裏磐梯方面)

大登サロン

7月12日(火)
午後1時30分から
大登生活改善センター

川井友愛サロン

7月13日(水)
社会見学
(裏磐梯方面)

浅岐あつたかサロン

7月13日(水)
社会見学
(裏磐梯方面)

間方いきいきクラブ

7月15日(金)
社会見学
(裏磐梯方面)

滝谷和楽塾

7月15日(金)
社会見学
(裏磐梯方面)

サロンないり

7月19日(火)
社会見学
(裏磐梯方面)

ひまわりサロン

7月19日(火)
社会見学
(裏磐梯方面)

ほがらかサロン

7月25日(月)
午前10時から
森の校舎カタクリ

※新型コロナウイルスの感染状況により中止する場合もございますので、ご了承ください。



町社会福祉協議会へのご寄附
(ご遺志によるもの)

小 松 順太郎 様 (西 方)
渡 部 一 郎 様 (川 井)

☎ 社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

会津坂下警察署からのお知らせ

それって詐欺かも！
インターネットの使い方に注意！

パソコンやスマートフォンが普及したことによって、インターネットは私たちの生活になくてはならない存在になりつつあります。仕事や買い物にと便利なインターネットですが、気をつけなければインターネットを利用した詐欺の被害にあってしまう可能性があることを忘れてはいけません!!



自然に潜む危険・・・登山の注意事項

- ①一人で登らない
万が一の負傷や滑落事故に備え、家族や友人と一緒に登ること。
- ②登山計画書の作成
登山の開始時間・下山時間・コース・装備品・メンバー等をまとめた登山計画書を作成し、家族や職場に提出すること。
- ③野生動物への対策
ホイッスルや熊鈴を装備して遭遇を未然に防ぐほか、遭遇してしまった場合には、静かにゆっくりその場を離れること。

☎ 会津坂下警察署警務係 ☎ 0242 (83) 3451

市民後見人養成講座受講生募集

認知症や知的障がい、精神障がいなどにより判断力が低下した方々を支える制度の一つに成年後見制度があります。成年後見制度の必要な方は、今後ますます増えると見込まれ、その担い手として、地域住民の方々が後見人になる「市民後見人」が期待されています。右記により市民後見人養成講座を開講しますので、関心のある方はまずは事前説明会へお越しください。

《連絡先》

- 特定非営利活動法人あいづ安心ネット
住所：福島県会津若松市西年貢1丁目4番26号
電話：0242-23-9014 FAX：0242-23-9015
メール：aizu-an shin-net@fmail.plala.or.jp
- 三島町役場 町民課保健福祉係
電話：0241-48-5565 FAX：0241-48-5544
メール：fukushi@town.mishima.fukushima.jp

消防署からのお知らせ

熱中症に注意！！

7月1日～7月31日は
熱中症予防強化月間です

- ・受け答えや会話がおかしい
- ・体が熱い、けいれんする
- ・普段通り歩けない



急いで救急車を要請してください。

熱中症は予防が大事！



☎ 会津坂下消防署 三島出張所
☎ (52) 3032 / FAX (52) 3033

○事前説明会

令和4年7月31日(土) 10:00～12:00
ピカリンホール(会津若松市北会津町)

○講座日程

8月20日(土)
9月3日(土)
9月17日(土)
10月1日(土)
10月15日(土)
11月5日(土)
11月19日(土)

○費用

受講料 10,000円 / テキスト代 7,480円

○申込先

特定非営利活動法人あいづ安心ネット事務局又は三島町役場町民課保健福祉係へ電話、FAX、メールにてお申込みください。



三島町に未だ生活工芸会館へ行、山アドウのストラップ作り体験をするのがおすすめです。

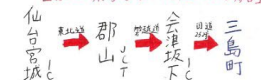
生活工芸会館では山アドウのストラップ作りの体験ができます。その他にも、糸編み組糸工で作ったカバンや、セカンドバッグ三島町の木で作った、コースターやタンスなどがあみやけて売っています。※体験料は100円です。



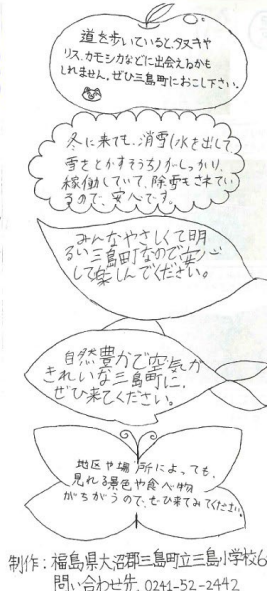
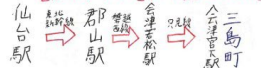
(糸編み組糸工)

三島町へのアクセスの方法

【宮城県から車でアクセスの場合】



【宮城県から電車でアクセスの場合】



三島町の特産の花



制作：福島県大沼郡三島町立三島小学校6年 問い合わせ先 0241-52-2442

三島小6年生は、総合的な学習の時間の一環で、町をPRするパンフレットを自作し、町のよさを広く発信しようと修学旅行先で自分たちの町をPRする活動に取り組みました。パンフレットには、町の宿や食や景色などが写真とともに手書きで紹介され、児童からのメッセージも記載されています。

仙台松島方面へ6月1日から一泊二日で訪れ、松島町内や青葉城址などで計50枚ほどを配布しました。受け取った観光客や街の人たちからは、「とてもよくできている」といった感想が聞かれ、児童たちは自分たちの活動への満足感を味わっていました。

町長日記

中山間地域農業の課題

No.81

養老孟子や内山節、佐伯啓思など他何人かの評論家や小説家がありますが、これらの先生方が本が出版されたという広告等が新聞で紹介されると、何故か子ども時代に帰ったようになる自分を発見する時があります。その本が気になって、早速、本屋さんに電話し、本の入荷状況を確認します。家の人からは「どうせ、買ってきてきても本を枕にして寝てしまおうか、読んでいる途中で本をかぶせて寝てしまうのだから」と苦言を呈されながらも、その姿勢を中学校時代から変えたことがあります。私にとっては違った空間を創る仕種でした。

特定の人の本を買う目的を持って本屋に行くことも至福の時であります。会津若松の本屋に行っても、最低1時間は過ごすことができます。

今考えると「ぶらっと」する時間があった方が、仕事の充実を得ることができ、その時間は、放電ではなく、充電の時間であると考えます。

「ぶらり、ぶらり」と歩く時間

が、事の本質として見える時があります。本屋の本の種類、売り場のレイアウトから「時代(今)や、流れ」が見えるのは確かです。人生すべてが目的実現の行動ではありません。目的のない、ビジョンのない人生にこそ、自己発見があると考えられる時もあります。

どこの本屋に行っても、IT・DX・経済・地方創生・歴史に関する本は選択しきれない程ありますが、農林業の振興等の専門書は本当に少ないです。都市問題は、農林業の問題でもあり、全国の中山間地域の問題と課題であります。

都市の問題が大きな課題なら、農林業の問題は表裏一体のものであり、経済学者や政治学者等の皆さんが都市と地方を分断するのではなく、関係性のある施策として、また共生できる国の形を創る必要があると考えています。都市と農山村が循環する仕組みを創ることが「幸福の質」を変える、未来志向の時代であると考えます。

三島町長 矢澤 源成